



はかなく密やかに、祝福のように
ままならない人生にも、
美しい瞬間がある



68th
International
Filmfestival
Berlin
Competition

第68回ベルリン国際映画祭
コンペティション部門
正式出品作品

2018年ドイツ映画賞
主演男優賞受賞
4部門ノミネート

(各都中賞、主演男優賞、助演女優賞、撮影賞)

希望の灯り

監督・脚本:トマス・ステューバー 原作・脚本:クレンンス・マイヤー(「通路にて」新潮クレスト・ブックス『夜と灯りと』所収(品切))
出演:フランツ・ロゴフスキ『ハッピーエンド』、ザンドラ・ヒュラー『ありがとう、トニ・エルドマン』、ペーター・カース
2018年・ドイツ/ドイツ語/カラー/ヨーロピアンビスタ/5.1ch/125分/原題:In den Gängen/英題:In the Aisles
配給:彩プロ 協力:朝日新聞社 宣伝:Lem © 2018 Sommerhaus Filmproduktion GmbH
kibou-akari/ayapro.ne.jp



1989年ベルリンの壁崩壊、1990年東西再統一。

置き去りにされた人達の哀しみを、スーパー・マーケットの灯りが優しく包む。慎ましく幸せな物語

BETA CINEMA PRESENTS A SOMMERHAUS FILMPRODUKTION PRODUCTION IN CO-PRODUCTION WITH MDR, ARTE, SWR, HR, ROTOR FILM AND DEPARTURES FILM WITH FRANZ ROGOWSKI, SANDRA HÜLLER, PETER KURTH, ANDREAS LEUPOLD, MICHAEL SPECHT, RAMONA KUNZE-LIBNOW, HENNING PEKER, STEFFEN SCHEUMANN, MATTHIAS BRENNER, GERDY ZINT SUPPORTED BY MITTELDEUTSCHE MEDIENFÖRDERUNG, MEG FILMFÖRDERUNG BADEN-WÜRTTEMBERG, BEAUFTRAGTE DER BUNDESREGIERUNG FÜR KULTUR UND MEDIEN, MEDIENBOARD BERLIN-BRANDENBURG, DEUTSCHER FILMFÖRDERFONDS, DIRECTOR OF PHOTOGRAPHY PETER MATASKO EDITED BY KAYA INAN SET DESIGN JENNY ROESLER COSTUME DESIGN JULIANE MAIER, CHRISTIAN RÖHRS MAKE UP HANNA HACKEBEL CASTING ANJA DIHRBERG, KAREN WENDLAND ORIGINAL SOUND CHRISTOPH SCHILLING SOUND DESIGN KAI TEBBEL COMMISSIONING EDITORS MEIKE GOTZ (MDR), BARBARA HÄBE (ARTE), BRIGITTE DITHARD (SWR), JÖRG HIMSTEDT (HR) LINE PRODUCERS MICHAEL JUNGFLIESS, SOPHIE COCCO CO-PRODUCERS MARTIN FRÜHMORGEN, UNTINE FILTER, THOMAS KRÄL WRITTEN BY CLEMENS MEYER, THOMAS STÜBER PRODUCERS JÖCHEN LAUBE, FABIAN MAUBACH DIRECTED BY THOMAS STÜBER GERMAN DISTRIBUTOR ZORRO FILM



AFTER THE SHORT STORY "IN THE AISLES" BY CLEMENS MEYER, PUBLISHED IN "ALL THE LIGHTS"



口下手なクリスティアン27歳。

夜間のスーパーマーケットに職を得、

そこでマリオンに一目惚れしたが、ワケアリの人妻だった。

「飲料担当」と「お菓子担当」の儚い恋…

祖国が忘れない、ブルー／ノ54歳。

毎晩ビールを飲みながら郷愁に浸る…

旧東ドイツの巨大スーパーで働く人たち、 そのつましい世界のぬくもり

アウトバーン沿いのライプツィヒ近郊。ここで働く者たちは、ベルリンの壁崩壊、東西再統一によって祖国を喪失した。その悲しみを静かに受けとめ、つましく生きている。いま目の前にある小さな幸せに喜びを見出すことで日々の生活にそっと灯りをともす。そんな彼らの生きる姿勢が、深い共感と感動を呼び起こし、静かな波のざわめきのように深い余韻を残す。

ドイツ新世代の才能を発見！

ワルツを踊るように通路を行き交うフォークリフト、その優美さ。小さな誕生日ケーキの愛らしさ。シュトラウス「美しく青きドナウ」やバッハ「G線上のアリア」、カナダのゴシックフォーク、Timber Timbreといった類まれな選曲センスに彩られ、あらゆるショットがはかりしれない美しさを湛えている。トーマス・ステューバー監督37歳、原作・脚本クレメンス・マイヤー41歳は、整然とした倉庫のような空間を詩的な小宇宙へと変貌させる。

はかなく密やかに、
祝福のように

作家・松家仁之



主人公がクリスマス・イブを迎えるまでの、永遠につづくかとおもえる映画的幸福を、ことばで置き換えるのはほとんど不可能だ。主人公クリスティアンの不器用な口べたが、見る者にたちまち伝染するからだ。会社の同僚から静かに肯定され、反語的ユーモアに満ちた挨拶や欲望の自配せまで受けて、ここはクリスティアンに手をさし伸べる「秘密の花園」になるだろうと期待がふくらむ。しかしそのあと容赦なく、主人公とともに深く暗い穴へと落ちてゆく展開に夢はなく、希望もなく、ことばも感情も行き詰まる。見る者はただ青ざめるばかりだ。日差しのない人工的な照明のもと、倉庫に置いてきぼりにされたクリスティアンのうえにはしかし、はかなく密やかな「希望の灯」が祝福のように降りてくる。その灯が持続するかどうかはもはや問題ではない。この瞬間がたしかにクリスティアンを包んだという以上に、わたしたちはいったい何を求めるのだろう。いまのこの時代に。



希望の灯り

出演: フランツ・ロゴフスキ『ハッピーエンド』『未来を乗り換えた男』、サン德拉・ヒュラー『ありがとう、トニー・エルドマン』、ペーター・カース

原作: クレメンス・マイヤー(『通路にて』新潮クレス・ブックス)『夜と灯りと』所収(品切)

2018年 / ドイツ / ドイツ語 / カラー / ヨーロピアンビースト / 5.1ch / 125分 / 原題: In den Gängen / 英題: In the Aisles

配給: 彩プロ 協力: 朝日新聞社 宣伝: Lem kibou-akari.ayapro.ne.jp © 2018 Sommerhaus Filmproduktion GmbH

【名画座 2本立て】10/31(金)～11/6(木)上映

併映作品『ライフ・ゴーズ・オン彼女たちの選択』

JR 大森駅 東口 西友 大森店 5F

「テアトルシネマグッズ」

キネボルグ

03(3762)6000 ttcg.jp